KGA 関東ゴルフ連盟 NEWS

男女関東アマ・男女倶楽部対抗・ジュニアの競技が柱

関東ゴルフ連盟 競技情報紙面が誕生!

関東ゴルフ連盟(以下KGA)が日刊スポーツと連携、主催するアマチュア競技の成績などを随時、紙面に掲載することになった。KGAは一都10県の加盟倶楽部、その会員であるアマチュアゴルファーの健康しんぽくを図るための統括団体。第一回はKGA理事長の竹田正二(61)に今回の提携の意義、今後のKGAの事業内容などを聞いた。

座談会出席者		
氏名	所属(都県名)	役職
竹田恆正	東京GCC(埼玉)	理事長
高橋正孝	日高ゲ(埼玉)	副理事長・総務担当
内藤正俊	三ヶ島GC(東京)	常務理事・競技委員長

広報機能強化なども

――KGAはこの春創立25周年という節目を迎えました。これまでに行ってきた改革、これからやりたいことをお聞かせください。

竹田 主なものは①主催競技の活性化②競技委員の質の向上③ジュニア育成④広報機能の強化④加盟倶楽部(のサービス)向上などです。

――ゴルフは、法医のリオデジャネイロ五輪の正式種目になりました。

竹田 KGAではジュニア倶楽部のプロジェクトをスタートさせました。ジュニア選手の育成はJGAと日本ゴルフ協会がナショナルチームに頼る点が多くていきます。地区連盟の役目は選手の発掘です。例えば、今までは父親がゴルフが好きで、子供にゴルフを教えていた。その中から選手が育っていきました。これからは関東地区の全の例はKGAが発掘していこうと思っています。

――KGAは創立以来、ボランティアで運営されてきました。今後、ボランティアの方々の参加者が減ってくるのでは?

竹田 KGAの競技は倶楽部対抗でしたその運営は新人を育っています。はかの地区連盟とは全く違います。

内藤 競技でもあるし、他の倶楽部のメンバーとの親睦が目的でもあります。最近は参加倶楽部が増え、今年は387倶楽部が参加倶楽部が増え、今年は387倶楽部が参加倶楽部が増え、今年は387倶楽部が